

事業所名 アシスト・ケア（宝ヶ丘）（第15回）

運営推進会議開催報告書

開催日時 令和5年9月22日 14時30分～15時00分	
参加者	議題
利用者 1名	①前回の運営推進会議の振り返り②事業所の特色③利用者の構成④職員資質向上の取組み⑤苦情、事故、ヒヤリハットの事例⑥事業所で内外での活動⑦ボランティアとの連携⑧避難訓練⑨地域から課題や要望⑩その他
利用者家族 0名	
地域住民の代表者 1名	
市職員 1名	
地域包括支援センター職員 1名	
事業所 2名	
会議録	
<p>1 14回運営推進会議の振り返り 地域の方向けに場所の提供は出来ないのかとの意見を頂き →地域の方が参加出来るように「バランスボール教室（ワンコイントレーニング）」を継続しています。</p> <p>2 事業所の特色 半日の運動特化型デイサービス。マシン・マッサージ・集団運動・歩行訓練を行う事で、高齢者でも無理のない筋力維持をすることが出来ます。 ・マシン運動は、日常生活動作（歩く・立ち上がる・座る・物を取る）を模したものです。立ったり座ったり、物を取る時の動作、浴槽を跨ぐための反復動作をすることで日常生活がスムーズに行えることを目的にしています。 マシンを使用して入浴時の浴槽を跨ぐ開脚運動や、棒を使用して開脚運動を行っています。 ・歩行訓練、ウォーキングマシン、足首回し、自転車漕ぎについては個々に、回数、時間の目標を設定して利用者さんの意欲を引き出し、運動の機会を増やす取り組みをしています。</p> <p>3 利用者の構成 利用者数約90名 男女比3対7 平均介護度1 平均利用者 日/14名</p> <p>4 職員資質向上の取組み ・外部研修、研修費用を一部会社負担にて受講 ・介護福祉士合格に向けて2段階の費用補助</p>	

・介護予防教室（バランスボール）の運動に参加することで、参加者側の気持ちを感じ、指導方法を学んでいます。

・定期的な社内ミーティングによる情報共有

5 苦情、事故、ヒヤリハットの事例

→フロアにて転倒。頭がふわっとしたとのことで、普段転倒されることはなかったが今後、注意が必要。

→飲み物がはねて、やけどの可能性があった。

→他の利用者に手を叩かれ、家族より虐待、刑事事件の可能性があると直接申し出があった。（監視カメラ設置することで事実確認を出来るように対応予定）

→送迎車両降車後、フロアまでの誘導スタッフが付いておらず躓き転倒。両膝骨折入院。

→マシンの転倒。固定することで倒れないようにしました。

→バックした際に玄関スロープ手すりにぶつかる。（転倒予防ポール設置予定）

他、送迎降車後の、降ろし忘れ確認について

→午前・午後：目視及び業務日誌、席の名札にて確認

午後の送迎後：送迎後に車両室内の写真を撮り降ろし忘れが無いかの確認後、責任者に写真を送ることでダブル確認。

6 事業所内外での活動

月に1回、障害者福祉施設よりパンの販売に来て貰い、希望者のみ購入。

7 ボランティアとの連携

なし

8 避難訓練 9月・3月に実施

「北側出入口より火事」の想定：南側非常口より自立歩行の方を優先的に誘導。歩行不安定な方は、南側入り口より誘導。

前回の課題として、誰を優先するのか検討した結果、自立度の高い方から優先して誘導したところスムーズにできた。

9 地域から課題や要望

・地域と密接に連携をして欲しい→ワンコイントレーニングを実施して地域の方へ運動の機会を提供。

・非常時での地域連携とはどのような事が確認したい→年2回の避難訓練では店舗管理者と合同避難訓練を実施。又、当施設を瀬戸市と連携した「瀬戸市福

社避難所」としての協定を結ぶことで地域との連携を行っている

10 その他

特になし